

科目名	PAL(TOEIC英語)	科目コード	1267	単位数	2
担当者名	原子 智樹	開講セメスター	第8セメスター	開講年次	4年次
授業の方法	講義	到達目標	A,G	実務経験	無
ナンバリング	MEn809	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

本第8セメスターはPAL(TOEIC英語) に引き続き、英書の講読を通して多様な価値観や世界観を俯瞰し、またその中で自ら課題を発見する想像力を培うことを継続します。

● 到達目標

英語書籍に慣れ親しむことに重点を置き、英書講読力の向上をはかり、言語・文化と社会との関連を、学びさらに深めることができます。

● 授業内容

- 1週目 Course Introduction; Reading practices (ii)
- 2週目 Reading practices (15) (Ch.2 The Rise of Nationalism)
- 3週目 Reading practices (16) (Ch.2 The Fastest Race Car in the World)
- 4週目 Reading practices (17) (Ch.2 The Last Superpower)
- 5週目 Reading practices (18) (Ch.2 Another Kind of Bubble)
- 6週目 Reading practices (19) (Ch.3 A Non-Western World?)
- 7週目 Reading practices (20) (Ch.3 Strength Is Weakness)
- 8週目 Reading practices (21) (Ch.3 Is Culture Destiny?)
- 9週目 Reading practices (22) (Ch.3 The Spoils of Victory)
- 10週目 Reading practices (23) (Ch.3 Westernization)
- 11週目 Reading practices (24) (Ch.3 Modernization)
- 12週目 Reading practices (25) (Ch.3 The Death of the Old Order)
- 13週目 Reading practices (26) (Ch.3 The Mixed-up Future)
- 14週目 Reading practices (27) (Ch.4 The Challenger)
- 15週目 Reading practices (28) (Ch.4 Central Planning That Work?); Examination
- 16週目 Summary and feedback  
(Supplementary classes will be available if necessary.)

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

英語基礎事項（文法・語法等）の復習と次回以降の講読箇所の語彙・文法とを予習。これには授業時間数の倍から3倍程度を要します。加えて既講読頁の内容把握。

必要に応じ、授業時間以外でも情報調査・収集を学内アクセスポイント（整備予定）等を活用して、積極的にアクティブ・ラーニングに取り組みましょう。

● 成績評価の方法・基準

- 1 授業内の課題など 80%
- 2 テスト 20%

● 履修上の留意点

次回以降の講読箇所の語彙・文法の予習を欠く受講者はセメスター終了を待たず不可とします。

講義担当者の判断により、内容・予定を微調整することがあります。

講読予定書籍はZakaria, Fareed (2011) The Post-American World. Release 2.0. New York: W. W. Norton Company Inc. あるいは、Kiyosaki, Robert (2022) Rich Dad Poor Dad: What the Rich Teach Their Kids About Money That the Poor and Middle Class Do Not! Plata Publishing. ISBN: 978-1612681122. (PAL(TOEIC英語) と同じ方を使用する予定です。)

(いずれも本学図書館開架に所蔵してあるので事前に閲覧しておきましょう。)

諸課題の途中経過への論評は必要に応じ都度授業内で反映します。

連絡事項はLMSの 掲示板 機能を多用します。LMSの巡回と、大学アカウントのGmail確認とは、毎日のようにしてください。

授業の資料類はLMSに掲示するので学内アクセスポイント（整備予定）等を用いて各自アクセスし、予復習を行ってください。

● 課題に対するフィードバックの方法

購読書籍の内容や日本語訳について、各週必要に応じたコメントを伝えフィードバックします。

● テキスト

特になし

としますが、PAL(TOEIC英語) と同じ予定です。履修上の留意点にあるいずれかの書籍（¥3,000程度）となります。

● 参考書

- R1 [ 配付書籍・配付資料 ]
- R2 英語辞典（電子辞書も推奨）
- R3 『英語再習法』（共同文化社）

また他に適宜紹介。

履修上の留意点にある書籍2冊を閲覧しておきましょう。

● 更新日付

2024/01/31 02:56